

# 区政のここが聞きたい

## 一般質問と答弁要旨

●詳細は、目黒区議会会議録または区議会ホームページの会議録検索をご覧ください。



### 区民の安全・安心は、自助・共助・公助で実現せよ

自由民主党目黒区議団  
伊藤 よしあき 議員

#### <温暖化対策とリサイクル事業>

(1)今年度、太陽光発電設備など住宅用新エネルギー等の設置に助成が行われている。区の助成には多くの応募があったが、抽選にはずれた方もあった。地球温暖化問題に積極的に取り組もうとする区民を支援するため、設置するすべての区民に助成せよ。(2)平成21年度から、区は古紙の集団回収一元化の事業を開始する予定だ。実施に当たっては、区民への十分な周知が必要である。具体的な周知方法を伺う。

区長 (1)区の助成には、当初予算額を大幅に超える申請があり、今議会に増額補正予算案を提出した。今後も財政状況を踏まえつつ、二酸化炭素排出量削減目標の達成を目指す。(2)町会等と打ち合わせを重ね、町会掲示板へのポスター貼付や、対象地域でのPR用ビラ全戸配布を進めている。

#### <新型インフルエンザ対策>

新型インフルエンザは、夏場も発生が続き、秋から冬にかけての大流行やウイルスの変異も懸念される。区の医療体制や社会機能を維持するための対策を伺う。

区長 感染の拡大を抑制し、医療や社会機能への影響をできるだけ軽減するため、集団感染の早期把握と保健指導による予防対策を徹底し、また、手洗いやうがいなど個人でできる予防策を、区報・ホームページ・新聞折り込みチラシなど媒体を利用して繰り返し普及啓発を行っている。



### 教育環境の充実、違憲施設平和協力センターの中止を

日本共産党目黒区議団  
石川 恭子 議員

#### <30人学級の実施>

東京以外の自治体では少人数学級を実施し、生活・学習面でも効果があると評価されている。東京都に対し30人学級の実施を働きかけよ。

教育長 区独自の補助教員や特別支援教育支援員等の配置により指導の充実に努めているため、東京都への要望は現段階では考えていない。

#### <小1補助教員の継続>

小学1年生30人以上学級には、7月まで補助教員が配置され歓迎されている。補助

#### <民間建築物の耐震化促進>

目黒区耐震改修促進計画では、平成27年までに住宅等の耐震化率を90%に、防災上重要な区有建築物の耐震化率を100%とすることを目標としている。(1)民間建築物の耐震化の進捗状況はどうか。(2)進捗状況を踏まえ、耐震化率向上の今後の取り組みをどう行うのか。

区長 (1)計画の目標達成には、今後3000戸余の耐震化が必要と推計しているが、これまでの実績は160戸であり、順調に進んでいるとはいえない状況。(2)民間建築物の耐震化は、安全で安心なまちづくりの視点から重要な課題である。効果的に耐震化が進むよう助成など施策を検討するとともに、制度の一層の普及・啓発を図る。

#### <高齢者支え合い>

高齢者が地域で安全・安心に暮らしていくためには、孤立防止、認知症対策などの課題に対して、地域での支え合いの仕組みづくりに取り組む必要がある。今後の取り組みについて伺う。

区長 地域住民同士の支え合いが何より重要であるため、地域の共助を高める見守り関係施策を進める。平成22年1月には、「高齢者見守りネットワーク」を立ち上げ、総合的に高齢者支え合いの仕組みづくりに取り組む。



### 新たな実施計画で区民が安心できる区政を!

民主・区民会議  
つちや 克彦 議員

地方分権が進む中、区民不安解消に向け現状問題解決と将来の問題防止の視点から、政策判断が必要である。

#### <特養施設大規模修繕>

現状の特別養護老人ホームを維持し、利用者の安らかな生活を確保するため、大規模修繕時に東京都や複数の自治体共同で一時的居施設を建設する施策を進めるため、区長が積極的に働きかけよ。

区長 大規模改修時の仮移転専用施設を建設、保有し、各区の需要を調整し、活用することを東京都に対し非公式に要望している。今後も同じ課題を抱えている各区と協議して、東京都に要望することも検討している。

#### <区内特養施設設置計画>

特養施設建設で区民に資金協力を得る施策推進や、土地利用で新規区民住宅を家賃助成拡大に置き換え、特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホーム設置を優先的に進める発想転換で、計画通りの実現に全力を尽くすべきではないか。

区長 民間からの資金調達には、住民参加型の公募地方債があるが、利率等で自治体側の負担が大きいの理由で実施していない。従来どおり東京都の補助等を

活用し、特別区債などにより資金調達を行っていく。実施計画に計上した事業は、さまざまな制度等を活用し実現に向け取り組んでいく。

#### <認可保育園増設>

継続的な保育環境確保のため、事業者自身が土地を用意して建設し、それが認可基準に合うならば基本的に認可するような積極的な事業者確保を進めるべきではないか。

区長 賃貸型認可保育所整備の補助対象が、建物の賃借料に限定されていることから、事業者が土地を用意して新築するプランは、現段階では考えていない。今後の検討課題とする。

#### <児童施設整備>

子育てを行政・保護者・地域が一体となって行うなかで、保護者に不信を持たれない児童施設整備を進めていくべきではないか。

区長 学童保育クラブ入所希望の見直しについては、今後策定予定の子ども総合計画の中で検討を進め、施設の整備は地域の保育需要に応じた増設を考えていく。児童館整備は用地確保が困難だが、慎重に検討していく。

倍に戻す。(4)対象を前年度所得に限定せず、現在困窮している家庭も対象にせよ。

教育長 (1)年度当初に保護者にお知らせを配布するほか、区報やホームページで周知を図っている。(2)児童扶養手当の受給手続きをした保護者に対し、子育て支援課窓口で制度の説明を行っている。今後お知らせを置くことを考える。(3)保護者負担の公平性から、基準は変更しない。(4)現年の所得状況も考慮することは、確定した前年所得を算定基準とする制度とは異なるため、現行制度の中で適正に対応していく。

#### <国際平和協力センターとプルトニウム>

防衛省は技術研究所に自衛隊の海外派兵の拠点となる違憲の3施設を新築する。また、プルトニウム保管と土壌汚染も明らかになる。平和都市宣言区の立場から見過ごせない。(1)海外派兵の拠点となる国際平和協力センターの中止を要請せよ。(2)研究センターなどで行われている戦争を想定した研究は、中止を要請せよ。(3)猛毒

のプルトニウムは直ちに撤去するよう要請を。(4)土壌汚染があった中目黒公園は広域避難所であり、区は公園一帯の土壌を調査せよ。

区長 (1)同センターの建設は国際平和協力活動の一環として国の責任で計画され、区が中止を求める状況ではない。(2)防衛省技術研究本部では、区民の安全を脅かす研究・実験は実施しないとのことで、中止の要請はない。(3)保管については、消防法等の関係法令に則って安全性の確保を徹底しているとのことで、撤去を要請する考えはない。(4)国は用地の売却に当たって、当時の環境庁の指導により、国の指針に基づいて汚染物質の除去等を行っている。区は、安全との認識で用地を取得しており、土壌調査の必要性はない。



### 清掃工場、人工芝、プルトニウム、各問題を問う

無所属・目黒独歩の会  
坂本 史子 議員

#### <ごみの減量>

脱焼却・脱埋立・脱大量リサイクルでのごみ減量に向け、(1)目黒清掃工場は廃炉又は一炉廃炉の計画にせよ。(2)容器包装以外の製品プラスチック等の拠点回収を実施せよ。

区長 (1)他の清掃工場の建て替え等で焼却量の増加が見込まれるため、管轄の清掃一部事務組合では規模縮小の考えはないと聞く。(2)回収後の再生品化等の課題があり、調査・研究していく。

#### <住宅の整備>

2009年度の応募倍率は高齢福祉住宅が3.32倍、区営住宅が16倍、都営住宅(一般募集)が148~528倍だ。(1)公営住宅を確保せよ。(2)対象を分けず、自然素材の長寿命住宅を、区の仕様で設計・発注・建設せよ。

区長 (1)住宅マスタープランなどを基本に、今後とも公営住宅の整備を進めていく。(2)公営住宅等整備基準を基本とし、バリアフリー等であらゆる世代が暮らせる住宅の整備を促進していく。

#### <保育所の整備>

東京都全体で保育所待機児数は昨年の5,479人から7,939人と激増した。(1)待機児を出さない緊急政策を。(2)公設公営区立保育園建設を計画・整備せよ。

区長 (1)緊急経済対策「暮らしサポート21」で、民間の認可保育所・認証保育所の誘致など、緊急に待機児解消に向けた取り組みを開始した。(2)用地確保や職員定数の適正化など、総合的な観点から慎重な



### 感染や危険物の不安を払拭し、教育環境を充実させよ

戸沢 二郎 議員

#### <新型インフルエンザ対策>

(1)今秋以降の流行に対し、発熱外来の設置、広範囲な休校等にどう対応するのか。(2)感染予防について、不安をおおる雰囲気は助長しないようにせよ。(3)ワクチン接種のあり方はどうか。安易なタミフルの使用は、耐性の強いウイルス発生の恐れがあるが、医療機関の対応方針はどうか。

区長 (1)病状の特性や地域の実情等を踏まえ、国や東京都と連携して適切に対応する。(2)正しい予防知識の普及啓発を促す。(3)厚生労働省が優先接種等を検討中。抗ウイルス薬の使用について、知識の普及啓発に努める。

#### <教育の諸条件整備>

(1)学校図書館を充実し、司書教諭を配置せよ。(2)小学校の英語学習の本格化に伴い、専任講師を配置せよ。  
教育長 (1)図書経費の増額や司書資格等を持つボランティアの派遣で充実を図

判断が必要である。

#### <宅老施設への支援>

他自治体では商店街の一角を利用した「宅老所」が実現している。子育て中の保護者が集ったり、高齢者が介護する側・される側に分かれなくて助け合う。区は施設作りを支援せよ。

区長 第4期介護保険事業計画の介護基盤整備の推進を基本とし、「宅老所」については今後の研究課題とする。

#### <人工芝の改善>

よれる、ゴムチップがからみつく、真夏の表面温度が50℃を超えるなど、八雲小学校校庭の人工芝について改善を求めめる声がある。既設校を改善する方が先決だが、どう考えるか。

教育長 ご指摘の問題は、一般的な人工芝の課題である。屋外運動場としての機能は十分で、現状で改善措置は必要ない。

#### <中目黒防衛省施設のプルトニウム>

(1)なぜ目黒区への届け出が行われなかったのか。(2)これまでの使用内容等を明らかにせよ。(3)猛毒の放射性物質から区民の健康を守れ。

区長 (1)区への連絡・届出は、法律上義務付けられていないためである。(2)防衛省に確認したところ、昭和40年から60年に、放射線に関する測定器の性能研究に使用したが、現在は使用していない。(3)防衛省では、耐震・耐火の措置をし、厳重な警備体制の下で保管しているとのことで、区民への安全性は確保されていると認識している。



### 生活の安心・充実を目指して!

公明党目黒区議団  
関 けんいち 議員

#### <新型インフルエンザ対策>

(1)区民への迅速、正確な情報周知について聴く。(2)被害を最小限にするための準備状況を伺う。(3)学校の休校、高齢者施設の休業等に伴う影響と対応を問う。

区長 (1)区報等のほか、緊急時には携帯メール等を活用し、迅速に情報を提供していく。(2)東京都は抗ウイルス剤を400万人分備蓄し、さらに追加予定。(3)休校・施設休業では利用者にも多大な支障が生じるため、支援策を検討する。

#### <ポイント制介護ボランティア>

(1)高齢者が介護支援ボランティア活動を行った場合、実績に応じて介護保険料等にポイントが付く本制度について、区の考えを伺う。(2)「高齢者の社会参加・いきがいづくり普及啓発事業」に追加し、ポイント制度の導入を検討せよ。

区長 (1)他自治体の実施状況や介護予防の有効性等を、引き続き調査・研究していく。(2)一般施策の同事業と介護保険の制度の連携が可能か、検討していく。

#### <地球温暖化防止>

(1)区施設に太陽光発電パネル設備の導入を促進せよ。(2)公園や道路の照明灯を、省電力で長寿命のLED照明に切替えよ。

区長 (1)区施設の新築や改修時にエネルギー機器等の導入を推進していく。(2)費用対効果等を勘案し、切替を進めていく。

#### <教育格差>

(1)年収格差が生じた全国学力テストの結果を受け、今後の指導法について伺う。(2)塾に対する評価と、公教育の課題整理はされたか。(3)「放課後子ども教室」の評価と今後の展望を伺う。

教育長 (1)放課後の補充学習や家庭との協力で、子どもたちに基礎基本が定着するよう努める。(2)塾は家庭教育の範疇と考える。学校では授業の充実や教育活動全般の質的向上を目指し、公教育の役割を果たしていく。(3)子どもたちを地域ぐるみで育てるためのもの。学校と実施団体との協力関係の強化等を図り、実施地区を拡大していく。

#### <補助46号線整備>

(1)沿道の方に対して丁寧な相談体制を望むが、区の姿勢を伺う。(2)今後整備が想定される補助30号線から環七までの住民に対し、区はどのように対応するか。

区長 (1)東京都と連携し関係住民への情報提供に努める。(2)東京都に対し、きめ細やかな対応を要望していく。



### 目黒の安心・安全を確保し、住み続けられる街づくりを

自由民主党目黒区議団  
市沢 芳範 議員

#### <総合防災訓練>

(1)第一次避難場所の開設計画で使用する仮設トイレや資機材等について、有効に活用しているか。災害時に助けとなる区職員の配置は適正か。隣接区の町会や消防団等との合同訓練の実施を要す。(2)避難所設置や防災用品備蓄などで、区内私立学校と災害時の協力体制を作れ。(3)高齢者や要支援者等の避難支援ガイドラインをどのように考えているか。

区長 (1)資機材は、区や地域主催の訓練で有効に活用している。避難場所へ徒歩で参集できる職員を指定し、応急態勢を確保している。隣接区民等との連携を始め、さらに効果的な訓練となるよう検討していく。(2)基本計画の改定にあたり、私立学校との防災協定の推進を明記し、協定締結に向け取り組んでいく。(3)個人情報保護に万全を期すと共に、早期に要援護者の支援計画を策定し、「共助」を柱とした地域防災ネットワークの構築を進めていく。

#### <自転車対策と道路>

(1)いまだ駅周辺の放置自転車が多く、近隣に迷惑がかかっている。一層の放置防止対策を講ぜよ。駐輪場の有効活用を考えよ。(2)歩行者の安全を確保するため、通学路や歩行者の多い道では、車道と歩道と

の区別をはっきりさせ、自転車等駐車させないなど取締りを強化せよ。

区長 (1)施策の効果等により、放置自転車数は減少傾向にあるが、さらに減少に取り組んでいく。駐輪場の利便性を高める等、利用率の向上に努めていく。(2)実施計画に沿って通学路を整備する。通学路点検の結果をもとに、車道と歩道を色分けするなど安全確保の整備に努める。

#### <危機管理>

(1)生活安全パトロールと、警察や地域防犯協力者と情報を交換し共有せよ。車の入れない狭い道路へは徒歩でパトロールに入れ、車体の色を警察と同じような白黒カラーにできないか。(2)落書き防止・ゴミの不法投棄、ひったくり・ちかん等犯罪抑制のため、個人宅も含めて公園・公共施設などに防犯カメラ設置を推進せよ。  
区長 (1)地域住民と合同パトロール実施等で、情報共有を図っている。狭い道など、徒歩で警戒している。車体の塗装は検討していく。(2)個人宅への設置は、プライバシーや設置費用の問題を研究していく。公共施設では、区立小中学校を始め116施設に防犯カメラを設置しており、今後も安全・安心な施設の整備に努める。

(※1) ALT: Assistant Language Teacher。主に英語を母語とする外国語指導員。目黒区では、担任とALTとの連携による外国語活動を基本とする。